

子育て支援だより

「子育てワンポイントアドバイス」

第181回 『叱られた事がない?』

こころの相談員 前田 里美

先日心理学の教授（年配の方です）が「僕は子どもの頃、叱られた事が一度もなくてね。変わった子だったのだけど。」と笑っていました。

その発言の発端になったのは『アルプスの少女ハイジ』の話です。両親のいないハイジが山に住むおじいさんに預けられクララの家に行くまで、誰からもこれは駄目だとかこうしろとか強制されずにのびのび生きていました。周りの大人たちはハイジを尊重し対等な立場で話を聞いてくれて、ハイジは自己肯定感が高く、人との距離感の取り方も上手です。ハイジは山の生活で叱られることはありません。ふと現代に目を向けると、私達は叱る事に慣れ過ぎているのかもしれない。

「叱ったらだめ。叱ったって良くなるのだから。」と先程の教授はおっしゃいました。学習理論を研究した心理学者も「罰は望ましくない行動をやめさせることはできない。」と言っています。『叱る=より良い方向へ導く為に注意やアドバイスをする事。』とあり、手本やアドバイスは大切ですが、子ども自身がそれを学びとっていくことが出来れば叱る必要はないのかもしれない。現代社会のスピードは速く、それが子育てにも影響しているように感じます。大人が待ってあげられない、付き合ってあげられない、とことん飽きるまでやらせてあげられない、簡便化ばかり追求してしまう。本来なら子どもはゆっつりのびのびと、大人が無駄と思うような体験でもやりたい事を自由にする事で沢山の事を学び、吸収して成長していくものなのでしょう。例えば何の知識も無くて、泥を見れば手を突っ込みたくなるのが子どもですが、大人は「汚いからやめなさい。」となるわけです。

せっかくわいた興味を無視したり潰したりしてしまうとそのうち興味がわかなくなり、自主的な言動も減ってしまいます。とはいえ、毎日の生活は大切ですからそのバランスを取りながら、たまには子どものペースに合わせて自由な時間をとってみてはいかがでしょうか？

※前田相談員は、小学校・中学校などで相談活動を行っています。

子育て支援事業紹介

のびのび相談の紹介

のびのび相談は臨床心理士による「落ち着きがない」「やりとりがうまくできない」「発達がゆっくり」「集団生活になじめない」などの子どもの発達に関する相談事業です。浅井臨床心理士さんは、学校カウンセラーも経験されており、保護者への相談だけでなく、子どもの相談にも対応してくれます。又、発達検査をして適切なアドバイスもいただけます。

相談をご希望の方は、子育て健康課（377-5652）まで予約の申し込みをしてください。



1月の子育て支援事業



日程	時間	事業名	内容	対象	場所	予約	担当
1/12(木)・15(金)・19(木)・22(金)・26(木)・29(金)・2/2(木)・4(木)・9(木)	9:00-12:00	あそび場	スキンシップ・ストレッチなどの遊び	発達がゆっくりの子どもと保護者	ほっとくらぶ	不要	ほっとくらぶ (377-3522)
1/20(水)・2/3(水)	10:00-12:00	ほっとする会の親の会	茶話会				

*最終ページに子育て健康課の子育て事業を掲載していますので、ご覧ください。

*お問い合わせは、各担当者にご連絡ください。